

<p style="text-align: center;"><b>システム創成 II</b></p> <p style="text-align: center;">Design and Implementation of Information Systems II</p>	<p>(教員名)</p> <p>安倍 広多、石橋 勇人、松浦 敏雄、村上 晴美、永田 好克</p>	
<p>情報システム創成研究分野 中核科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>2 単位</p>	<p>2017 年度・後期</p>
<p><b>I 科目の主題</b></p> <p>ソフトウェアの開発プロセスを体験的に学ぶ。本授業では、開発プロセスのうち、外部設計書をもとにシステムの実装を目指す。授業時間中は検討中のシステムや各文書等について学生と教員の間でディスカッションを行う。内部仕様書およびプログラムの作成、テストを含め、開発プロセスの後半を実践する。授業時間中は検討中のシステムや各文書等について学生と教員の間でディスカッションを行う。</p>		
<p><b>II 授業の到達目標</b></p> <p>ソフトウェアの開発プロセスのうち、内部仕様の作成から完成までの実践を通じて、ソフトウェア開発手法を学ぶことを目標とする。本授業では、3～5名程度でプロジェクトチームを組み、共同でソフトウェア開発を目指す。内部仕様書およびプログラムの作成、テストを含め、開発プロセスの後半を経験する。</p>		
<p><b>III 授業内容・授業計画</b></p> <p>第 1 回 データ構造、内部設計・テスト・品質保証 (講義：2 時間)</p> <p>第 2～3 回 コーディング、デバッグ、テストの演習 (実習および議論：8 時間)</p> <p>第 4 回 内部設計の検討 (実習および議論：4 時間)</p> <p>第 5 回 内部設計書の作成 (実習および議論：4 時間)</p> <p>第 6 回 内部設計書のレビュー (学生の発表および議論：2 時間)</p> <p>第 7～9 回 プログラミング (実習および議論：18 時間)</p> <p>第 10 回 ソースコードレビュー (学生の発表および議論：2 時間)</p> <p>第 11 回 単体テスト (実習および議論：6 時間)</p> <p>第 12 回 テストプログラムの作成 (実習および議論：6 時間)</p> <p>第 13～14 回 結合テスト (実習および議論：12 時間)</p> <p>第 15 回 システムの評価 (学生の発表および議論：2 時間)</p>		
<p><b>IV 事前・事後の学習内容</b></p> <p>所定の文書やプログラムを作成するために、各グループ毎のミーティング、および、個人での授業準備が必要である。</p>		
<p><b>V 評価方法</b></p> <p>内部仕様書、プログラム、システム評価：30 点</p> <p>日々の作業レポート：30 点</p> <p>各回の授業での貢献度：40 点</p>		
<p><b>VI 受講生へのコメント</b></p> <p>システム創成 I で設計したものをシステム創成 II で実装する。従って、原則としてシステム創成 I と II の両方を受講すること。状況によっては梅田キャンパスで授業を行うことがある。</p>		
<p><b>VII 教材</b></p> <p>【教科書】鶴保証城、駒谷昇一： ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの授業 2、翔泳社(2006)</p>		